

第548回 長野放送番組審議会

1. 開催年月日 令和6年4月3日（水）午前11：00より
2. 開催場所 長野放送本社会議室
3. 委員の出席 ○委員総数 8名
○出席委員数 8名
○出席委員の氏名（敬称略・委員は五十音順）
 - 委員長 林 新一郎
 - 副委員長 井上 裕子
 - 委員 浅井 隆彦
 - 委員 加藤 恵美子
 - 委員 笹本 正治
 - 委員 武重 正史
 - 委員 中山 潔
 - 委員 南澤 光弥○欠席委員の氏名（敬称略・委員は五十音順）
○放送事業者側出席者名
 - 外山 衆司 （代表取締役社長）
 - 船木 正也 （常務取締役 編成業務・放送番組審議会担当）
 - 久保 善一 （取締役 報道制作・企画事業担当）
 - 西條 彰浩 （報道制作局長）
 - 早川 英治 （編成業務局長）
 - 浅輪 清 （編成業務局次長 兼 考査部長
兼 放送番組審議会事務局長）
 - 北澤 輝久 （編成業務局編成部長 兼 視聴者室長）
 - 宮本 利之 （報道制作局制作部長）
 - 内山 純一 （報道制作局制作部副部長）
4. 議題
 - (1) 番組審議

『 学校テレビ 』令和6年3月2日（土）10：45～11：15放送

(2) 視聴者対応報告（令和6年3月分）

番組種別報告（令和5年10月～令和6年3月分）

(3) その他

5. 議事概要

(1) 番組審議

- ・長野県の全ての学校と信州の若者を応援するという番組で、目の付け所というのは良かった。
- ・「長野県の学校の良い所、すごい若者を見つけて応援」というコンセプトが明快で分かりやすくバラエティとして気軽に見られて面白い番組だった。
- ・番組のターゲットは「長野県で学ぶ全ての若者」と定義されていますが、実はこの種の番組の裏ターゲットは保護者の皆さんだと感じた。
- ・生徒会長役の澤本夏輝さんは今風な生徒会長ってこんな感じなのかなと。どちらかという引き出すよりも憧れる存在というような感じの人で、コメントやロケの感じは印象良く映った。
- ・佐久長聖高校の駅伝部を取り上げるのにスポーツキャスターがインタビューするのは違って、高校生目線でインタビューをしているのは面白かった。
- ・出演している人たちに関しては全く知らない人たちばかりだったのでそこからネットでチェックを始めた。
- ・紹介されていた高校生が非常にユニークで才能豊かな方が多いと感じたのでこういった子どもたちを継続的に取材してどんなふうに成長していくのか、どんなチャレンジがあるのかというのも撮っていくと面白いと感じた。
- ・信州の魅力を世界に発信する世界部という部があるのだと、むしろこういうものをできるだけ広く取り上げて、地元の人たちとうまく繋がっていければ大変良い

のではないかと思った。

- ・世界部とか探求創造学科とか、自分たちで考えて将来を考えていくような素晴らしい学校の取り組みは、だいぶ学校も変わったなという思いで勉強になった。
- ・生徒会長が自分の学校を日本一の学校にしているのが、学生の能動的な雰囲気伝わり、今の学校の新しい形なのかなという発見になった。
- ・今後この人たちが継続的に出演するということになれば、それぞれのキャラクターがもっと際立って来るのでしょうし、一層楽しく見られていくのではないかと
思う。
- ・生徒会メンバーの女子2人が、せっかく長野出身の長野で活動している子と東京出身の東京で活動している子がいるので、何かしら素性の違いを演出の中で出て来るのかなと思ったら何もなくて終わってしまった。
- ・若いアイドル3人だけだと安定感がないと思うが、生徒会書記ということで松山アナが入ってまとめてくれていた。
- ・松山アナもテンポ良く進行していて、去年12月の『信州の検索ワード2023』の時のキャスティングよりもこっちの方が好き。
- ・学校が環境や少子化に合わせてどんどん変わっているという新しい学校の形を見られたことはとても新鮮に思えた。
- ・長野県は広いし高校もいっぱいあるのでもっと違う切り口での部活の活躍というのも見たいなという風に率直に感じた。
- ・学ぶという面でのそれぞれの学校の特色や特色ある学科、今力を入れているテーマ、ユニークな研究をしている先生なども合わせて紹介すると、もう少し重層的で興味がわくのではないかと感じた。
- ・高校生たちにアプローチするのは、例えばテレビ番組だけではなくてSNSを使

って本人たちも含めて拡散してもらおうとか、SNSを使った双方向性みたいなこともうまくやって続ければ良いと思った。

- ・視聴者から部員募集のアイデアを募ったりして双方向の形で番組に反映させていくと参加型の面白い番組になって行くのではないかという気がした。
- ・30分だけの単発番組の限界が大きかったと思うが、番組自体は可能性を非常に感じた。
- ・基本的に性差が無くなってきている中で前半の部分は全部「さん」付けなのに、なぜ途中で「君」が出てきたのかが気になった。
- ・バズバズ部って何するのですかというのが最後まで私の中でクエスチョンマークのまま終わってしまったという所が残念だった。
- ・最後の最後になってこれは1回限りのお試し番組パイロット版ですと言い、好評の場合は次あるかもしれませんがという締め方は番組制作に対する最初の意気込みと最後の締め方のちぐはぐさが非常に感じられた。
- ・若者だけがターゲットではなくて、作り方によっては様々な視聴者層に発信できる番組になるのではないかなと思うので、最後に尻切れで終わらせないで、ぜひ次回もやりますというような形で終わらせて欲しかったし、今後の制作に期待したい。
- ・今回は単発だとするとなかなか限界もあるのだろうが、継続して放映することで一定層の視聴は期待できるのではないかと感じた。
- ・この番組は1回きりでは意味がないのではないかと思う。地域の中学校・高校等を紹介する番組として期待し、成長していかなければいけない。
- ・信州の過疎化などを含めての地域課題に対して高校生がどんな風に動こうとしているのかということを知りたい。今後の展開こそがこれからの番組作りになって

くるだろうし、みんなが見たがるだろうと思う。

- ・お試し版ではなくて、当然続けていろんな人を発掘していただきたい。
- ・学校で子ども同士の話題になるような番組を目指して頑張ってもらいたい。

(2) 視聴者対応報告（令和6年3月分）

番組種別報告（令和5年10月～令和6年3月分）

資料に基づき、令和6年3月分の視聴者対応と、令和5年10月から令和6年3月分の放送番組の種別について、編成部より報告を行った。

(3) その他

長野放送番組基準（令和6年4月1日改正）

民放連の放送基準改正を受けて4月1日付けで長野放送番組基準を改正、施行した。

配布資料

- ・第547回番組審議会（令和6年3月）議事録
- ・視聴者対応報告資料（令和6年3月分）
- ・番組種別報告（令和5年10月～令和6年3月分）
- ・番組審議会委員名簿
- ・長野放送番組基準（令和6年4月1日改正）
- ・モニターレポート

『 学校テレビ 』

（令和6年3月2日 土曜日 午前10時45分～11時15分）

- ・ BPO報告（NO. 261）
- ・ 民間放送（第2225号）
- ・ タイムテーブル（令和6年4月～6月分）
- ・ 民放連 『放送基準解説書2024』『放送倫理手帳2024』

以 上